

基にして作られたので、潮汐との関連が深く、漁業者などは今でもこれを利用してゐる。

大西町海岸の潮汐の満干の差は、月齢・季節・天候（気圧、風向など）により差異がある。月齢では新月・満月の後二日目、三日目頃が大きく、これを大潮といい、その中間頃が小さく、小潮という。季節では春と秋が大きい。また夏は冬より潮が高くなる。気圧が低い時、南寄りの風の強い場合は潮が高くなる。

大潮時 旧暦三、四日頃、十七、八日頃、満干の差平均約三m
小潮時 旧暦九、十日頃、二十四、五日頃 満干の差平均約一・二m

第五節 自然災害

自然現象による不慮の災害には風水害、干害、日照不足、地震、作物の病虫害など数多くあるが、現今最も大きな被害をもたらすものは風水害である。

台風は強風とともに豪雨を伴うことが多く、農業や交通運輸、人命や財産に大災害をもたらすことがあり、嚴重な予防対策が必要である。明治十七年八月二十五日に襲来した台風は、大潮の満潮と重なって異常の高潮となり、激浪が海岸の堤防を破壊して津波状態になって陸の奥深く浸入し、九王、大井浜部落に大損害を与え、被災者の中には農業の復旧を諦めて出稼ぎに出た者もあつた。

昭和二十年九月十七日夜の台風（枕崎台風）は、稲の出穂後の間もないだじな時期であつたため大損害を被り、稲穂は白く傷つき収穫皆無に近い大不作になり、

旧暦日と大西町海岸の満干時刻（概略）

旧暦日（月齢）	満 潮		干 潮	
	満	潮	干	潮
1日（0～1頃）	10時頃	22時頃	3時頃	16時頃
5日（4～5"）	1" "	13" "	7" "	19" "
10日（9～10"）	6" "	18" "	0" "	12" "
15日（14～15"）	10" "	22" "	4" "	16" "
20日（19～20"）	1" "	13" "	7" "	19" "
25日（24～25"）	6" "	18" "	0" "	12" "

※月により、また風向などにより多少の差異がある。
満干時刻は、1日平均約50分おくれる。

戦後の食糧難に更に追い討ちをかけることになった。続いて同年十月十日の阿久根台風は、本町で一日の雨量が三五〇mmに達して大洪水となり、河川のはらん、堤防道路の決壊など大被害となつた。

昭和四十七年九月八日に、大西町、玉川町などを襲つた局地的集中豪雨は、一日の雨量が二〇〇mmに達し、それも短時間に集中的に降つたため、山くずれや崖くずれが多発し、河川のはらんや堤防の決壊のため、家屋、農地、道路、河川などに未曾有の大損害を被つたが幸い人命被害は無かつた。町では激甚災害特例法の適用を受けた。

昭和五十一年九月八日から十二日まで五日間にわたる十七号台風の影響による降雨量が五〇〇mmを超え、洪水となり町内各所で山くずれ、崖くずれ、河川の土砂による埋没、稲の冠水、家屋の浸水、堤防や道路の損壊、果樹園や水田の流失や埋没などの大損害を被つた。激甚災害特例法の適用を受け復修に当たつた。

主な自然災害表（明治以降）

年号	西暦	災 害 の 大 要
明治一七	一八八四	八月二五日、大暴風雨・高潮。九王、大井浜の海岸堤防決壊し、海水浸入して民家・稲作の被害甚大。流失家屋一二戸。床上浸水 七二戸。救助人員 一四八人。負傷人員 三五名。堤防河岸決壊 一三ヶ所。道路破壊 四九ヶ所。浸水田面積 八七町六反。
二六	一八九三	大旱ばつ、農作大被害
三〇	一八九七	大旱ばつ、農作大被害
大正一三	一九二四	旱ばつ、田植不能田出る。
一五	一九二六	七月七日、大暴風雨、堤防・橋等の被害大。

昭和47年9月8日集中豪雨災害状況

区分	被害	区分	被害
人的被害	重傷1、軽傷1	り災世帯数	122 ^{世帯}
住家全壊	4棟	り災者数	427 ^人
住家半壊	12棟		
住家一部破損	50棟	公立文教施設	600 ^{千円}
床上浸水	56棟	農林業施設	883,710
床下浸水	421棟	公共土木施設	128,190
非住家建物	81棟	その他の公共施設	30,000
水田流失埋没	3 ha	小計	1,043,500
水田冠水	80ha	農産被害	386,762
畑流失埋没	60ha	林産被害	3,000
畑冠水	10ha	畜産被害	1,000
道路(町道)	21か所	商工被害	10,000
橋りょう	3か所	家屋被害	45,000
河川	32か所	通信被害	500
水道	5か所	農機具被害	5,100
崖くずれ	250か所	その他の被害	20,000
通信被害	1回線	被害総額	1,513,862 ^{千円}

昭和51年9月8~12日17号台風連続豪雨被害状況

区分	被害	区分	被害
住宅半壊	8棟	県河川	4河川
住宅一部破損	54棟	町道	8か所
床上浸水	5棟	農道	317か所
床下浸水	150棟	水路	148か所
公共建物	2棟	橋りょう	8か所
水田流失埋没	3 ha	溜池	42か所
水田冠水	75ha	頭首工	4か所
畑流失埋没	16ha	農地保全	10か所
畑冠水	53ha	農地復旧	42か所
水道	3か所	林道	55か所
崖くずれ	36か所	治山	40か所
被害総額推定	1,353,650,000円		

四七 一九七二 九月八日、集中豪雨。二〇〇mmを超える。最大一時間当り八〇mmに達す。激甚災害特例法の適用を受けた。(被害状況別表)

五一 一九七六 九月八日、一七号台風の影響による五日間の雨量五〇〇mmを超す。農作物、河川道路の被害大。激甚災害特例法の適用を受けた。(被害状況別表)

昭和四九 一九二九 早ばつ

九 一九三四 大早ばつ。七月二十七日、八月三〇日の雨量 今治一mm、松山二mm、稲作大被害。

一四 一九三九 〃

一八 一九四三 八月早ばつ、農作被害大。

二〇 一九四五 七月二二、二四日、台風豪雨。 九月二〇日、台風、大雨

二二 一九四六 九月十七日、枕崎台風、稲作大被害大減収。 一〇月一〇日、阿久根台風、豪雨三五〇mm、洪水、堤防決壊多し。

二五 一九五〇 一二月二二日、南海大地震、震度 四、地盤沈下〇・五m、一m。道後温泉湧出止まる(約三ヶ月間)

二六 一九五一 九月三日、ジェーン台風。 九月一三日、キジャ台風、 稲作被害大

二九 一九五四 一〇月一四日、ルース台風、家屋、農作物被害大。

三〇 一九五五 九月二六日、一五号台風、高潮浸入(洞爺丸台風)

三一 一九五六 九月三〇日、二二号台風、高潮浸入、農作物被害大。

三二 一九五七 九月一〇日、二二号台風、果樹、水稲の被害大。

三五 一九六〇 七月二日、豪雨、洪水。

三九 一九六四 七月七、八日、豪雨、洪水。

四二 一九六七 九月二五日、二〇号台風。

四三 一九六八 七月二六日、九月一日、異常早ばつ四八日間降雨なし。果樹稲作被害大。

四五 一九七〇 二月一五日、異常積雪、二〇cm、四〇cm、交通まひ、山林被害。

八月二二日、一〇号台風、家屋、果樹被害大、陸上交通もまひ。(今治港大被害)